



2011年11月報

Vol. 433

11月1日発行

| | | |
|-------------|---|------------------|
| 主 題 | 2011 - 2012 年度 | クラブ・部・区・アジア地域・国際 |
| ク ラ ブ 主 題 | 「為さねばならぬ」 | 会長・横田憲子 |
| 阪 和 部 主 題 | 響き合い、ともに歩む To walk together, echoing each other | 部長・松本三枝子 |
| 西 日 本 区 主 題 | ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献 | 理事・浅岡徹夫 (近江八幡) |
| | “ContributetotheCommunitythroughActiveServiceswithLove” | |
| 々 副 題 | 理想を目指して変革と行動 | |
| | “Change Ourselves and Take Actions toward Our Lofty Goal” | |
| アジア地域主題 | 地域会長 Wichian Boonmapajorn (タイ) | |
| | “Audere est Facere To dare is to do” 「とにかくやろう- 為せばなる」 | |
| スローガン | “Mission with Faith” 「信念をもって使命をはたそう」 | |
| 国 際 主 題 | 国際会長 Finn A. Pedersen (ノールウェイ) | |
| | “Audere est Facere To dare is to do” 「とにかくやろう- 為せばなる」 | |

「京都特急ニュースター号」



芳澤 伸之

皆さん、今年の3月から運行している東大阪・布施駅から京都駅まで直行70分で行ける大阪バス・京都特急ニュースター号をご存知でしょうか。門真南JCTから第二京阪道路を走り久御山JCTから阪神高速8号京都線を通る

ルートです。1日17往復。ちょっとした旅行気分です。今私はこれにはまっています。週末ともなれば東西の本願寺をはじめ、法然上人の庵や親鸞聖人が晩年過ごした別院など、かれこれ十数か所をまわってきました。4月9日から始まった親鸞聖人750回大遠忌法要。来年1月16日まで65日間にわたり115座がつとめられ、全国から多くの方が参拝されておられます。私も3座おつとめをさせていただき大遠忌のスローガン「世の中、安穩なれ」に込められた思い、お心を大切に受け取らせていただきました。御遠忌とは、もともと50年ごとにお勤めされる宗祖の回忌法要のことです。この機会に宗祖親鸞聖人の教えや先達の願いに立ち返り、今一度、自らの生き方、生活の有様を見つめなおそうと思っております。ここで私お勤めの親鸞聖人の足跡を訪ねたコースをご紹介します。聖人誕生の地と伝えられた伏見区・日野誕生院、出家得度された東山区・青蓮院、一時期参籠されたと言われる中京区・六角堂、念仏の教えに帰依された東山区・安養寺そして親鸞聖人の墓所がある東山区・大谷本廟。大谷本廟から徒歩圏には清水寺、高台寺、八坂神社、知恩院、平安神宮とこれからの紅葉時期には絶好の観光地です。いま大谷本廟の無量寿堂

【今月の聖句】

ヨハネによる福音書10章16節

「わたしには、この囲いに入っていないほかの羊もいる。その羊をも導かなければならない。その羊も私の声を聞き分ける。こうして、羊は一つの群れになる」

わたしたちは、閉鎖的な仲良しグループで



はない。外に開かれた明るいクラブであることをPRすること

【11月例会プログラムご案内】

日時：11月17日(木) 18:30~20:30

会場：サンホーム 6階 強調月間 “BF”

司 会：芳澤伸之 君

開会点鐘：会長・横田憲子さん

ワイズソング：一 同

聖句朗読：岩坂正雄 君

ゲスト・ビジターご紹介 司 会 者

会長の時間：会長・横田憲子さん

食前感謝：岩坂正雄 君

インフォメーション：当該者

ゲスト・スピーチ

「オモニは64歳の高校生」金 参禮さん

「東北被災地活動報告」東YMCAリーダー

誕生日お祝い：会長・横田憲子さん

にこにこアワー：伊藤玲子さん・望月治子さん

YMCAの歌：一 同

閉会点鐘：副会長・宮本桂子さん

に父は安らかに眠っています。

10月例会報告

報告:B班 正野忠之

日時:10月20日(木) 18:30~20:40

会場:サンホーム 6階

出席者: メン 伊藤圭介、尾北 昇、加藤寿枝、佐古至弘、新本英二、正野忠之、杉村 徹、畠平剛志、藤井敬子、中野義彦、丸尾欽造、望月 強、芳澤伸之、横田憲子

メネット 伊藤玲子、新本力子、中野涌子、丸尾初子、望月治子、初田真佐子

ビジター 今井利子(大阪なかのしま) 松岡虔一(大阪サウス)

ゲスト 松本裕史、武田龍一、八木恒朗、以上25名



例会会場風景 (写真提供:伊藤圭介君 3枚)

10月例会は、新本メンの司会により定刻に始まりました。会長の時間では、メネット事業の国内プロジェクトとして、「東日本大震災支援に行くリーダーを支援するために作品を出品しています。無料で展示販売する場所がありましたらご紹介をお願いします。」との紹介があり、そのことについては、伊藤玲子メネット会長からも説明がありました。また、恒例のジャガイモ、カボチャ販売についての報告もありました。佐古メンのお祈りを得て食事の時間と続きます。

インフォメーション 伊藤メン: 広報事業として、リーフレットをワイズメンでない方に手渡しして広報して欲しい。1名に手渡しすれば1ポイントつき、西日本での表彰対象になる。写真展にロシアより参加あり。尾北メン: ロビー展は11月17日までに作品募集。写真をパネルに入れて応募。出品料500円は東日本大震災支援に使われる。正野メン: 9月下旬の全体リーダー会に出席。夏のプログラム写真が展示されているので、1票を投じて欲しい。加藤メン: 10月15日、ティンカーベルで東映太秦映画村へ旅行。クラブより4名参加を得て無事に終了。伊藤メネット会長: 手仕事の会で小物作成。作品の紹介。お買い上げをお願いします。佐古メン: 10月15日に小阪協会での被曝ピアノ演奏会実施。60人参加。経費10万円かかったが、クラブの支援もあり、何とか黒字で終える事が出来た。11月23日にバザー。横田会長: 部事業としてウェルネス



生活習慣病予防を論理的に語る松本裕史氏

ウォークを11月13日実施。参加募集。以上。

ゲストスピーチの時間です。今月のゲストは武庫川女子大学の松本裕史先生で、メインテーマは「ノルディックウォーキング」。元東YMCAのスタッフで現在は「大阪YMCAいきいきエージングセンター」にお勤めの武田龍一さんがご紹介者です。体を動かすことが生活習慣病予防になるということをわかりやすく講義していただき、その後、ノルディックウォーキングについて披露していただきました。今回のテーマとこのノルディックウォーキングはクラブのみなさんも関心が高く、予想以上の反響がありました。このスポーツをEMC活動にという声も出ているようです。道具は必要ですが、手軽で誰でも始められる運動です。

誕生祝い、にこにこ、いつもの流れで進み、10数分超過しましたが、10月例会は和やかな雰囲気の中で閉会しました。

尚、本月のニコニコは19,965円でした。



横田会長(中央)からお誕生日をお祝いされた中野涌子さん(右)と尾北 昇さん(左)

ノルディックウォーキングの効果と用具のカタログ
通常のウォーキングに比べて酸素摂取量が約20%増加する 下半身の筋肉に加え上腕筋、肩甲骨周辺の筋肉、大胸筋、広背筋の活動が増加する 膝関節への負荷を軽減する 健康の保持、増進 血圧、血糖、コレステロールの改善など生活習慣病の予防 体重管理 などがあげられています。
尚、用具のお問い合わせは横田会長に申し出てください。

第37期10月役員会 議事録

記録： 大谷美佐子

2011年10月27日(木)19:00~20:30 東YMCA

出席者： 横田・大谷・宮本・望月・藤井・正野
田中・佐古・畠平・丸尾

11月例会 11月17日(木)サンホーム 18:30~

A班担当(宮本・芳澤・望月・伊藤・岩坂・加藤・山内)

ゲスト・金参禮(通名・白神多加)様

タイトル「オモニは64歳の高校生」

・東YMCAリーダー

「東日本大震災被災地活動報告」

11月例会役割分担

司会・芳澤 君、 聖句朗読・ 岩坂 君

食事手配・ 加藤 君、 食前感謝・ 岩坂 君

ニコニコ・ 伊藤メネット& 望月メネット

受付・ 会計 田中・藤井 君

音楽担当・会計兼任

12月号ブリテン原稿

11月例会報告 宮本 君、にこにこテープ起し

望月 君、役員会報告 芳澤 君、Yニュース

鈴木えみ さん、サンホームニュース 尾北君、

巻頭言 大谷 さん

原稿締切日 例会報告11月23日、役員会報告

11月27日、その他原稿は11月20日厳守

審議事項・報告・連絡事項

《審議事項》

1. 11月例会の役割 (A班担当)宮本、芳澤、望月、
伊藤、岩坂、加藤、山内

2. 12月東YMCAクリスマス会に河内クラブの参
入プログラムについて

・東YMCAクリスマス実行委員会にワイズも参
加。河内ワイズはバザーの販売を担当(商品はサン
ホームが提供)メネットの手作り商品をバザー横
のコーナーで販売。

クリスマス例会

日時 12月4日(日)16:00~19:30

場所 サンホーム 第一例会 2F・

第二例会 1F

会費 メン 5000円 リーダーOB 1000円

ファミリー3000円、メネット・ビジター3000円

スタッフ・リーダー 招待

3. リーダーキャラバン隊仙台への費用捻出活動の
支援について

・11月26日~27日に仙台に震災支援(炊
き出し)に訪問。資金6万円目標にリーダーが
募金活動をしている。その協力としてワイズか
ら1万円を支援、例会に於いてリーダーより募
金活動あり。西日本区メネット事業より支援が
ある為申請中・・・リーダーひとり 2万円×
5人

4. IBC活動でロビー展にオゼルクラブよりの
写真 参加に対して表彰をどうするかなど今

後の検討

・今年度は「特別出品」として展示。 賞の対象

外とする但し人気投票には入れる。人気投票は10
円コインで金額よりも個数を優先する。

5. 河内クラブの郵貯より送金手段を考えてほしいと会
計よりの検討提案あり

・ジャガイモ・かぼちゃの支払い代金が高額である
ため振込が難しい。支払い先の振込用紙を利用する
方法などが次回への課題。

6. 来年の検討課題としてジャガイモ・カボチャの評価・
ご意見をよろしく

・ジャガイモの小さい物ばかり入っている箱や虫食いの
多い箱があり次回は検討する必要がある。メークイ
ンより男爵のほうが人気があるのでは

7. 会員増強のためノルディックウォークをEMCにつ
なげることはできないかという意見がある

・河内クラブEMC推進委員会で今後検討する。

8. EMC2000推進チームの委員に河内クラブから
1名という要望が阪和部長よりあります

・クラブとしては審議保留

《連絡事項》

1. 11月13日[日]ウエルネスウォークの参加者

2. 11月23日小阪教会のバザーにてメネット事業手
作り販売

3. 東YMCAクリスマス会でメネット事業の作品手
作りコーナーで販売

4. メネット会1泊親睦

5. 1月9日[日] 阪和部新年合同例会でかくし芸の
競演あり

6. 次期副会長候補。

7. 次期阪和部に関して。河内クラブより 横田・書記
望月・会計

《報告事項》

1. 済州クラブから頂いた東日本大震災献金がサンシャ
インキャンプに支援され、そのお礼を込めた報告の
翻訳が杉村連絡主事のご紹介で出来ました。

お礼報告はパソコンでなく文章で丁寧に送る。

以上

次期クラブ役員立候補者の受付開始

2011/2012年 次期役員選考委員会

クラブ会則第11条第2項に則り、次期クラブ役員立候
補者を募ります。立候補する役員の種別は「副会長」
です。立候補される方は、所定の様式をもって、11月
30日までに次期役員選考委員会委員長・大谷美佐子ま
でお申し出くださいますようお願いいたします。

世界YMCA・YWCA合同祈祷週間 11/13~11/19

影響を与える声

《若者は権利と正義を呼び求める》

世界YMCA/YWCA合同祈祷週では毎年一つのテーマの
もとに全世界のYM・YWに連なる人々が聖書からメッセ
ージを聞き、祈りを合わせるときとしています。

日時：2011年11月11日(木)18:30~20:30 場所：大阪Y
MCA10階チャペル プログラム：第1部・メッセージ・
土井直彦さん(清教学園チャプレン)、第2部・食事と交流

「大阪YMCA第17回チャリティーラン2011」 みんなの笑顔に支えられて大きな成果

10月10日、秋本番の大阪城内は多くの人出で賑わっていた。昨年より1ヶ月開催が早くなり、イチョウ並木の色がまだ緑を帯びていた。内堀の極楽橋前の広場がメイン会場で、開会式をはじめスタートやゴール地点でもあり、早くから多くのボランティアによって準備がなされた。川岸清大会実行委員長から「好天を与えられたことを感謝したい。この大会は、走る方もボランティアの方も、皆さんの参加が何よりも大切なことである」と、メッセージが伝えられて開会。大阪全YMCAに繋がる様々なグループをはじめスポンサーや各方面の人たちがカラフルなウエアーで一同に会場にあふれた。特に今年はこの大会のために若者が制作した青い大会Tシャツが目を引いた。

参加チームは内外の団体、順位制に11チーム、宣言タイ



東YMCA・サンホームにつながるつわものたち

ム制に38チーム、そしてオープン制には7チームがエントリーされ、老若男女のランナーが応援の歓声をあび、みどりの風を切り裂いてタスキをつないだ。台風や局地豪雨など異常な気候から解放されたプログラムに走者もボランティアやスタッフも一緒になってウェルネスとチャリティーに満ち足りた秋の日のひとときであった。大阪河内クラブがスポンサーしたチームは何れも宣言タイム制で、「OSAKA YMCA MOMONOSATO」は16位(時間誤差438秒)、「チーム ビーサン」(サンホーム)は、31位(時間誤差1709秒)の成績であった。その参加精神を大いに讃美し拍手をおくりたい。尚、順位制では、大阪ヴェクセルクラブがスポンサーする「大阪市立野田中学校マッキーズ」が27分47秒で昨年に続き優勝した。来年、意岐部中学校(陸上部)を送り出すなんて面白いのではと天を見上げた。当日の報告されたチャリティー賛助金は、3,573,723円に達し、川岸清大会実行委員長から末岡祥弘大阪YMCA総主事に目録ボードが贈呈された。寄せられたこの浄財は、大会趣旨に沿って障害のある子どもたちを支援するために用いられる。

河内クラブは、例年通り東YMCA参加者に昼食として「おにぎり」を準備させていただいた。期待された抽選会では東YMCA関係に幸運の風がなびかなかったのはちょっと残念。当日の参加者は、横田憲子、尾北昇、佐古至弘、新本英二、藤井敬子、正野忠之、伊藤圭介、伊藤玲子、丸尾欽造、丸尾初子、宮本桂子 以上11名。

(報告・まるおきんぞう)

「大阪YMCAチャリティーゴルフ」 東日本大震災被災者支援へ神戸ゴルフ倶楽部に集う

10月21日、快晴の六甲山、「神戸ゴルフ倶楽部」にて大阪YMCAチャリティーゴルフが開催された。このチャリティーゴルフは、社団法人神戸ゴルフ倶楽部のご協力をいただき、東日本大震災被災者支援を目的として企画され、参加費から支援金の部分を大阪YMCAが実施する被災者支援プログラム全額充てられる。

当初予定されていた人数には至らなかったが、参加者は日本最初のゴルフコースで先人が伝えるゴルフの原点を探りつつ、各ホールの特徴を楽しみプレーすることが出来た。ショートホール11、ミドルホールが7ホールのパー61。しかしいずれも難攻不落のホールである。使用クラブは10本以内、簡素なバッグに詰めかえて一人のキャディさんが4つのバッグを担いでくれた。また、我々が当時のクラブやボールを使用したとして果たしてどれだけのプレーが出来るのだろうか、そのあたりにもゴルフの原点に考えが及ぶことが出来た。

創設時に立てられた倶楽部ハウスは1931年に取り壊され、翌年、米国人設計家ウィリアム・メレル・ヴォーリスによる設計で新しいクラブハウスが建てられたが、2007年11月、経済産業省より「近代化産業遺産」に認定されている。また、スコアカードは、デザインもシンプルで

ローカルルールに至るまでも全て英文で記載されており、至るところに歴史を見つけることが出来た。

今回のチャリティーゴルフはコンペ形式で行わないことになっていましたが、配布された順位一覧表に寄れば不肖私が優勝という思わぬハプニングもありまして、歴史的な先人のその流れの中で元気にゴルフが出来たことを喜びたい。願わくば再度の訪問機会を期待したいものである。

(報告・丸尾欽造)



ゴルフ伝承100年のコース「神戸ゴルフ倶楽部」を満喫

第二回阪和部評議会報告書

報告：正野 忠之

10月15日(土)南YMC Aにて第2回阪和部評議会が開催されました。定例のクラブ会長報告では、横田憲子会長より震災支援を中心に今後の予定も含めた報告があり、事業主査報告では、大谷美佐子EMC事業主査が私用で欠席のため文書による報告を行いました。今回の評議会は前年度の決算、今年度の予算、新旧評議会懇親会および阪和部会の剰余金とお金にまつわる承認事項が多くあり、また8月にBF代表がインドから来日した際の報告もなされ、阪和部内で一部のクラブ(今回は観光地としての奈良クラブや部長クラブとしての大阪サウスクラブ)に負担がかかる問題を部としてどう検討するかが話し合われました。これについては、私が部長を務める期で継続検討することになっています。また、11月13日に開催されますウエルネス・ウォーク(10月例会で案内済み)が、地域奉仕・環境事業(遠藤主査)と和歌山紀の川クラブの共催とし承認されました。



報告する横田憲子会長と部役員のみなさん(前列)

ティンカーベル & なないろの風
東映映画村への遠足 外出支援をしました

報告：藤井 敬子
宮本桂子さんが代表を務める NPO 法人「輪」の二つの施設である「ティンカーベル」及び「なないろの風」の両作業所の「東映映画村」への遠足会が10月15日に行われました。参加者は、作業生20数名を中心にスタッフやご家族の方々に加えて、河内クラブからは今回もサポートボランティアとして4名が参加しました。当日は天候も決して良くなかったのですが、雨に見舞われることなく、予定通りの行程を実施できたことにまず感謝したいと思います。京都へは、車椅子リフトが装備された大型バスとやや小ぶりの観光バスの2台での移動でした。



が、京都太秦までのドライブは快適そのものでした。「東映映画村」は、現代と江戸時代を中心とした両極の時代を兼ね備えた箱庭のような一角で、タイムトンネルに紛れ込んだような錯覚を覚えました。作業生の方々の喜びに満ちあ

ふれた笑顔は周りを巻き込んで楽しいひとときをもたらし、日々のご苦労も吹っ飛んだのではと感じました。様々な体験プログラムもありましたが、侍と一太刀交える緊迫のシーンに飛び入り参加した作業生の中川真弓さんに周りから拍手と笑いの歓声が上がっていました。ワイズメンがどれほどのお支えができたかはわかりませんが、一つの輪の中で一緒になって親交を深められたことと今後の関係をさらに強める太い絆を築くことができたのではないかと思います。



役者さんを相手にチャンバラ体験のあとに記念撮影

10月15日 河内クラブのジャガイモ・カボチャ到着

報告：横田 憲子

天気予報では雨、しかし荷卸は大丈夫でした。尾北昇さんによりますとトラックの予定9時以降に到着が8時に到着ししばし待機したようです。中野さん・新本さん・望月さんの会社の方々により、しばらくしてリーダーのみなさんそして正野忠之さん、かぼちゃの荷卸に横田と写真班の伊藤さんが登場、御蔭さまで今年は早い段階で約880ケースのジャガイモ・かぼちゃ作業を終えることになる。

いつもながら尾北さんのジャガイモ・かぼちゃの設置場所の準備や注文数の集計をしていただき、その後の引き渡し、集金もすべてお世話いただき感謝でございます。特に今年は仕入れ先の変更で望月さんにもお手数をおかけしました。又前納には会計の藤井さんには送金制限にかかりながら知恵を出して頂きました。お世話いただいた皆様ありがとうございます。

来年に向け皆様のご意見をいただきたくよろしくお願いたします。▼リーダーの応援で荷降ろしを終えました



<<温故知新>> ③

地域活動としての東大阪YMCA

東大阪YMCA開設2年目の昭和48年4月には、体育教室登録会員は409名となり、新たに少年野外活動クラブが55名の新入会員をもって発足した。

この年の9月、地域活動研究委員会(三好博)による「YMCAの地域活動に関する研究報告」が南YMCA運営委員会に答申された。この報告書によると「YMCAの地域活動とコミュニティ・サービス」について次のように述べている。

■YMCAの地域活動とコミュニティ・サービス

地域社会の住民がよりよい生活を営むために、それを妨げている具体的な問題や要求を発見し、そこにある課題をどの側面から解決するかの必要な対策をたてて、地域の住民を中心に実施してゆくことが求められている。

YMCAは、社会改善運動としての起源をもつが、今までの事例では、社会教育的視点からのアプローチがその大半の活動であろう。YMCAで現在行われている地域活動の分析は、後に触れるので省略するが、特に留意すべき点として次のことがあげられよう。

1. 地域活動と館外活動

地域のニーズを受け止めて、その主体的な指導性を提供するケースと地域のニーズを開発するケースがあり、地域社会の課題はYMCAと地域社会との連帯性の中でプログラムの開発や拠点活動が実施されているのが現状である。YMCAの館内活動がそのまま地域に持ち込まれるのではなく、地域の課題を調査研究した上でYMCAの目標によるゴールなり長期的ビジョンの中で、地域のリーダーシップを得て着手されるものでなければならない。

2. 活動の場としての地域との関連

居住地域、職場地域、第三空間地域といわれる三つの地域の中で、YMCAの地域活動は各々の対象の生活の場の中で扱えられるべきものであり、YMCAの活動としての要素は多分に社会教育的なものが多いが、単なる社会教育の分野に止まらず、一つの地域住民のグループを形成し、そこに交わりの場を広げると共に、地域性を加味した連帯感を生みだし、新たな力を結集するためのプログラムでなくてはならない。

3. 地域住民の要求や課題との関わりの中で

地域そのものの持つ問題と何ら無関係に実施されるものは、地域活動とは言えない。その地域の共同性すなわち生活の諸側面で共通した特徴(行政・経済性・社会性・教育性などの帰属感情)を欠いた活動は押しつけの活動になる。

目標の設定、方策の樹立、実施面における主体はあくまでも、地域住民にあるべきであるが、ここでは、理念が先か実践が先かの論は避けるとして、あくまでも地域社会に貢献、奉仕することがYMCAの理念からも地域

住民に自覚されるようにすすめられるべきであろう。

4. 地域の中でのリーダーシップの開発

あらゆる人間はリーダーシップを潜在的に持っているが、具体的に指導性を発揮されるためには、その開発と訓練が継続されなければならない。今日の情報化社会の中では、表面的な接触だけでは、人間関係は絵空ごとにと終わってしまうのがおちである。一つの目標を共通のテーマとして掲げ地域の中から指導者を発見、養成してゆくことが重要であり、そのための組織づくりがなされれば真の意味での地域活動とはなりえないだろう。

5. 真の意味での参画

地域における施設の発見・活用は地域住民の活動として認識されるときには、帰属意識の結果により無限の可能性が広がっていくのではないだろうか。この反面、施設を必要としないプログラムの開発も大きな課題である。YMCAは単なる市場開拓やエクステンションではなく、YMCAの目標とする社会実現のための支援者や共鳴者を生み出すことが大切である。

このための活動の展開は、地域住民による委員会組織やリーダーシップが、新たなYMCAをつくることに連なるものであるとの確信をもちたい。

施設が運動かという論議が現在においても通用するように、YMCAは建物や施設も大切であるが、それだけではなく、益々、多用化する社会の中で、地域の活動を受身ではなく、積極的・能動的に一つの集団の一員としての意識をもって推進しようとするところに真のパーティシペーション(Participation)が生まれてくる。

真にYMCAの地域社会との連帯は、この時点において成立するにではなからうか。

今回は、本格的なYMCAづくりに向けて、活動委員会組織と大阪河内ワイズメンズクラブの誕生について掲載。

第11回 サンホームロビー展

あなたの写真作品ご応募ください

展示期間 2011年11月19日～12月4日

会場 東YMCA「サンホームロビー」

応募料 1点につき500円

応募料はすべて東日本大震災救援のために全額献金いたします

応募締切 11月17日(木)

応募は写真に限ります。額縁またはパネルに装丁し吊り紐を付けること 作品は応募票を添えてサンホームへお届けか送付ください 審査は、写真家・河野正雄先生の選考と来場者の評価点とします 表彰式は大阪河内クラブ例会(12月4日) 応募票等、詳しくは河内クラブホームページ参照下さい

<http://kawachi-ys.org/>

主催：大阪河内ワイズメンズクラブ

実行委員長 大谷美佐子

10月例会の余韻

ニコニコ語録集



ダイジェスト版

八木恒朗：高齢者福祉事業で通信制の学校を行うことになりました。S17生まれで住所名前しか書けない方がおられます。すごく小さい時から働きに出て、教育を受ける機会がなかった方や、今でもドロップアウトしてしまった子供もいます。そういう方に生涯勉強できると伝えていきたいと思います。伊藤玲子：私は週2回水中ウォークをしていて、太っていたのがやせると世界が変わってきました。何が一番いいかというと、先生がおっしゃられるように自信がわいてきて、色んな事に挑戦したくなりました。中野涌子：メネット会で色々作成しました。こんな細かい仕事...とぼやいていましたが、作っていると和やかになりました。あとは売れば(笑)、ポールを持つと姿勢が良くなりそうで、とても興味のあるお話ありがとうございました。藤井敬子：武田さんとは長いお付き合いで、子供がお世話になっています。子供と「こないだお会いしたよ」「どんななっていた?」「お父さんと同じ頭になっていたよ」と話していました。(会場爆笑)山に登るのには、ストックを意地でも使わないようにしています。畠平剛志：昔は有酸素運動は20分以上といわれていましたが、細切れでも良いと聞いて安心しました。少しづつでも運動したいと思います。佐古至弘：42才から糖尿37年目ですが、インスリンも打つ事無く飲み薬だけで済んでいます。会社に行って12000-13000歩歩いている事があるかと思えます。バザーの裏面に河内ワイズのメネット会のことを印刷して2500枚、ピアノのチラシと一緒に300枚印刷しました。できる限り河内ワイズも一緒にPRしていきたいと思えます。尾北昇：運動というと4年前のチャリティランをきっかけにはじめたのですが、とても気持ちがいいです。また、YMCAでは特定高齢者対象に介護予防教室でストックウォークを行っています、とても好評です。今井利子：今は足を悪くしましたが、少しずつ歩きたいと思えます。それからこのクラブが元気なのはメネット会のおかげだと思います。松岡虔一：卒業生の進路を聞かせてほしい。(松本)中学高校の保健体育教員の免許を取る学生が多いです。今は小学校の教員を取る学生も増えてきました。多くはスポーツ関係健康づくり関係の資格をとってスポーツ関係に進みますが、最近是一般企業に進む学生も段々出てきました。松本裕史：学校では学生と間違えられるような若輩者に機会を与えていただきありがとうございました。皆様の前向きさに勉強することも多いです。また機会ありましたらよろしくお願ひします。本日はどうもありがとうございました。武田龍一：河内ワイズの方々とかこういう形でお会いするのは10年ぶりでしょうか。皆様昔と余りお変わりなく、お元気そうで何よりですが、その元気な間に体を動かしていただきたいです。私はノルディックウォークをはじめて

3年目です。3年前は「おたく、若そうやのに杖2本使ってるの?」と言われることもありましたが、最近では認知度が上がってきたように思います。おしゃれなスポーツで、リハビリにも使えますので、皆様いかがでしょうか。土佐堀YMCAで土曜日にノルディックウォーキングのプログラムを、南森町エイジングセンターで講座を持っています。興味ありましたら是非おいでを。ポールは鶴橋の「クロス」という店が協会事務所になっているので、そこで購入できます。だいたい1万円から2万円程度です。(お詫び：紙面の都合上ダイジェスト版としました)



メネット情報



東日本震災にあった皆さんと同じ気持ちになり目標に向かって共に頑張りましょう!

メネット皆さんお変わりございませんか。10月河内クラブ例会前に1時-6時まで長期間に亘り集いおしゃべりを楽しみながら手先を動かし作品がどんどん完成できばえも素晴らしくみんな喜びました。途中、目と肩こり?のため軽く体操もしました。

横田 憲子会長、中之島クラブの今井さんからは布地、丸尾メンからは工具による細かい技術の提供をして頂きました。「七色のかぜ」さんからは沢山のエプロン用の布地を格安でおわけして頂きおおいに助かりました。皆様に厚くお礼を申し上げます。これからは自宅での作業が続く為それぞれで無理でない程度の材料を持ち帰りました。九猿用と猫はさみ、マイ針山が例会場真ん中に美しく可愛く丸尾メンが飾って下さいました。横田会長さんからも宣伝して頂きメネットも一人一人一生懸命被災地を思い浮かべながら作成していることが伝わったと思います。年末に向けて頑張って制作し売り上げにご協力をお願いするのみです。マイペースで楽しみながら作っていきましょう。下記のように物品販売とメネットお仕事会が続きますのでお知らせしておきます。

記

- 1) 10月22日 土曜日 4時より居酒屋、なごみ 当日は猫はさみ、マイ針山の販売も横田会長さん企画の震災復興の為の物品販売と共に加えさせて頂きます。
- 2) 11月17日 木曜日 ワイズ例会日 3時からお仕事会 (各自の持ちかえり完成品を持参下さい) 手作り4種 勢揃い。
- 3) 11月23日 水曜日 祝日 11時-3時 1)の外に九猿、エプロン4種を小阪キリスト教会(佐古メンの所属)に出品販売募金活動を行います。佐古メネットも来て下さいませ。
- 4) 11月、日は未定。東YMCAのリーダー会関係の催しに出品。正野メンから詳細連絡があります。
- 5) 12月4日 日曜日 4種 東YMCAのクリスマスとバザーに出品、のち河内クラブ、クリスマス会で販売 以上、伊藤 玲子

今月の強調月間メッセージ

「 Public Relations Wellness 」

ワイズデーはワイズ広報デー、ワイズデーでの催しや事業を積極的に外部に広報しましょう。できればワイズ以外の方も参加できるイベントを企画しましょう。

辻野啓一 広報事業主任

12月クリスマス例会案内

ボランティアリーダーやスタッフ・職員の方々の日ごろのお働きを讃えて歓迎したいと、横田会長の思いで準備を進めています。各クラブからのご参加もお待ちいたしていただきますので是非お運びください。

記

日 時：2011年12月4日(日)14:00~19:30

会 場：東YMCA「サンホーム」

プログラム内容

- 第 部 礼拝・奨励・クリスマスキャロル 他
- 第二部 乾杯・晩餐・ロビー展表彰式・リーダーとの交流会・オークション 他

会 費：河内メン¥5000、メネット・ピジター¥3000
 リーダーOB¥1000、スタッフ・リーダー招待
東YMCA・桃の里YMCAのクリスマス会が当日10時から同所で開催されます。模擬店、ゲーム大会、ツリー作り、喫茶・餃子コーナー、各種教室などが出店します。併せてご参加くださいますようお願いいたします。

Happy Birthday



- 11月 8日 山内たりほ (さそり座)
- 11月 ??日 Olga Azaryan (Ozerki)

ゲストスピーカーのプロフィール

金 参禮(キム サム レ)通名・白神 多加
 在日二世で、大阪で生まれて、途中北海道に疎開したことも。あとはずっと大阪で生きてきた韓国風といえば「在日オモニ」大阪風といえば「おかん」
 1951年3月布施市立長瀬第一小学校卒業。1954年3月布施第三中学卒業。2007年3月大阪府立布施高等学校定時制卒業。著書に「オモニは64歳の高校生」在日コリアンとして生きてーがある。

第37期 2011/2012年 クラブ役員

- 会 長・横田憲子 Yサ・ASF・田中惟介
- 副会長・宮本桂子 地域奉仕・佐古至弘
- 直前会長・大谷美佐子 EMC ・望月 強
- 書 記・望月 強 ファンド・新本英二
- 芳澤伸之 交 流・岩坂正雄
- 会 計・田中惟介 広 報・伊藤圭介
- 藤井敬子 メネット・伊藤玲子
- 連絡主事・杉村 徹 会計監査・新本英二

| | |
|-----------------|----------|
| 会 員 数 | 21 名 |
| (特別メネット会員数) | 1 名 |
| 10月例会 会 員 出 席 者 | 14 名 |
| メイクアップ | 3 名 |
| 10月 の 出 席 率 | 80.0% |
| ゲスト・ピジター出席数 | 5 名 |
| メネット・コメット出席数 | 6 名 |
| 例 会 出 席 者 総 数 | 25 名 |
| 役 員 会 出 席 者 数 | 10 名 |
| 10月 延 べ 出 席 者 | 35 名 |
| ニコニコファンド10月 | 19,965 円 |
| 同 今 期 累 計 | 65,715 円 |

2011 11 Nov. >> 12 Dec. スケジュール

- 11月 4日(金) ・第二例会 プリテン発送
16:00~ サンホーム 6階
- 11月10日(木) ・韓国Y・大阪YW・大阪Y
合同祈祷週集会
18:30~20:30 大阪Yチャペル
祈りと食事と交流のとき
- 11月13日(日) ・ウエルネス ウォーク
稲むらの火の館
9時和歌山YMCA集合
費用(入館料)¥500
昼食各自用意のこと
主催 紀ノ川クラブ 及び
阪和部地域奉仕事業
申込先 西岡弘
Tel& Fax 073-452-5565
- 11月17日(木) ・第一例会 18:30~20:30
サンホーム 6階
・ロビー展 出展作品提出締切り
・メネット お仕事会 15:00~
- 11月19日(土) ・ロビー展 開催(12月4日まで)
- 11月23日(祝) ・わいあい One Day
小阪教会バザー 11:00~15:00
メネットは出品、販売活動
- 11月24日(木) ・クラブ役員会 19:00~21:00
- 11月26日(土) ・「なごみ」奉仕 16:30~
・東北震災支援チャリティショッ
- 12月 1日(木) ・第二例会 プリテン発送
- 12月 4日(日) ・第一例会・クリスマスを祝う
々 ロビー展表彰式
・東YMCA・桃の里
クリスマス会 10:00~
場所: YMCAサンホーム
- 12月15日(木) ・クラブ役員会 19:00~21:00
- 12月22日(木) ・第二例会 プリテン発送

発行者: 横田憲子 編集者: 丸尾欽造

HP : <http://kawachi-ys.org/>